



あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で「エッタヌキ」のことです。



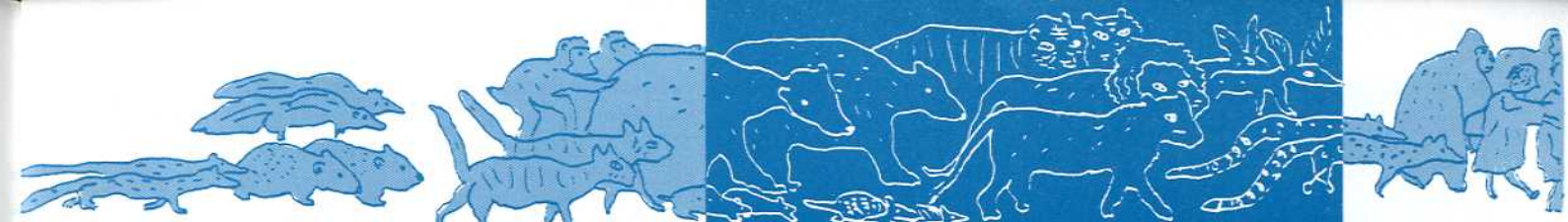
ホッキョクグマ
Thalarctos maritimus

NO.

34 OCT
1993



ヨクチョウ



新・どうぶつ解析考
むかしばなし

桃太郎

桃太郎・・・有名な昔話である。
発祥は岡山という説もあるが、いや自分の所
だといって譲らない地方もあると聞く。

いずれにしても室町の頃に、中国地方でうま
れた物語であろう。

桃から産まれた桃太郎というのは、出生の秘
密を垣間見るような気がして、何とも辛いのだ
が、鬼退治のお供となった家来たちについて考
えてみたい。

犬、猿、雉が“きびだんご”を一個おねだり
して、“あなたについてどこまでも、家来になっ
ていきましょう”と約束してしまう。

その地方の農家の庭先では、普通に見られ
て、えさを蒔いてやれば、すぐに食べに寄って
くる、馴れやすい動物を三種類、物語に登場さ
せたのだと思う。

もちろん、猿はニホンザル、雉はニホンキジ
である。では犬は？

“やまいぬ”と呼ばれていたニホンオオカミで
あろうか？

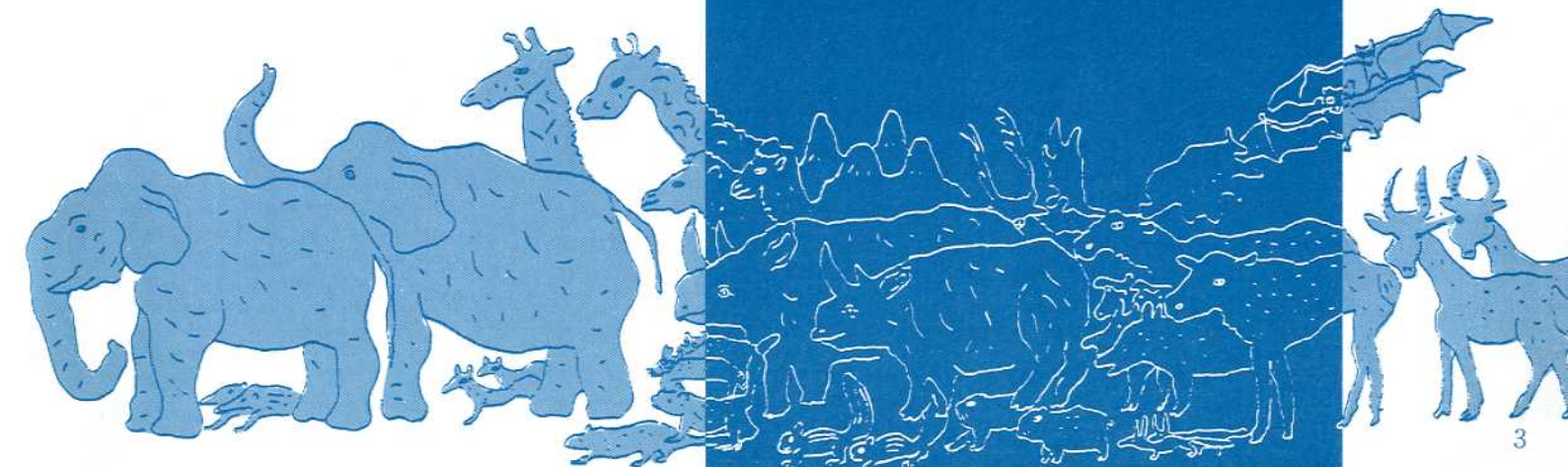
犬は縄文時代から日本にすんでおり、もしか
したら人類以前からすんでいたのかもしれない。
日本人の祖先が日本列島に移住してきたと
きに、その野生犬を飼い慣らして家畜化したと
も言われている。以来、明治に入り西洋犬が輸
入されるまで、犬は屋外に放し飼いにされてい
たので、室町時代に庭先をうろついていた犬は
“やまいぬ”ではなく日本犬だったと考えられ
る。

表紙のことば

初雪が降って、
今年も白い季節が
やってきた。
白いホッキョクグマの
季節だ。

巻もくじ

- 2 ほっと ひとPhot -
- 3 新・動物解析考
昔話の動物たち
- 4. 5 シリーズ
「動物ってなんだろう？」
第6回 「鳥の仲間」
その3 水禽類
- 6. 7 第25回児童動物画
コンクール優秀作品
- 8 最近の動物園事情
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
-コノハズクの繁殖-
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
-ヤギの目の形は-
クイズ
- 11 飼育日誌・お知らせ



第6回 「鳥の仲間」

その3 ハクチョウ・ガン、カモ
みずかきのある

水辺の鳥

「水禽類」とか「水鳥類」といえば、ふつうはハクチョウやガン、カモの仲間をさしますが、広い意味では、海岸、海洋や潟、湿原、川、湖、沼などの水辺を生活の中心としている中型以上の鳥をさします。たとえば、ガンカモ類はもちろん、カイツブリ、アビ、ペリカン、カモメ、コウノトリ、フラミンゴ、サギ、ツル、シギ、チドリなどたくさんの仲間が該当します。

水辺は、鳥の餌となる魚や貝、虫などの動物から、いろいろな植物まで食べ物の種類と量が非常に豊富な場所なので、たくさんの種類の鳥たちを養っていくのに適した環境なのです。

● ハクチョウ、ガン、カモの仲間 (ガンカモ目ガンカモ科)

一般に水鳥といえば、この仲間をさします。ほとんど一生を通じて水辺から離れて生活することがありません。体つきも水の生活に適した形をしており、典型的な水鳥といえます。

体の下面は船底型で、あしは体のやや後方についています。3本の前指の間にはみずかきがあり、水をけて進むのに役だっています。大きさはオオハクチョウの翼長約600mm、体重約1,300gからアフリカマメガンの翼長約150mm、体重約200gまでさまざまです。

ガンカモ科の鳥(3亜科43属147種)は地球上に広く分布しており、最も繁栄している鳥の仲間の一つです。人に馴れやすいため昔から家畜化されており、ハイロガンからツールズ、サカツラガンからシナガチョウ、マガモからアヒルなどたくさんの飼鳥がつけられました。また、肉や羽毛の利用価値が高いので狩猟の対象とされてきたため、我々人間とは係わりの深い鳥の仲間です。一方で乱獲や生息地の破壊から絶滅の危機に追い込まれているものも少なくありません。

ガンカモ科	カササギガン亜科	1属	1種
	ガ ン亜科	7属	30種
	カ モ亜科	35属	116種

● ハクチョウ類

よく知られた大型の水鳥で、寒帯、温帯を中心に5種が生息している。日本にはオオハクチョウとコハクチョウが北シベリアの繁殖地から越冬のために飛来する。今年は冷夏の影響か、例年より早く飛来してきた。

迷鳥として稀にやってくるアメリカコハクチョウは、1988年以來五年連続静内川に姿を見せており、1992年4月には旭川でも飛来が記録されている。

分布	種	亜種
北半球	コハクチョウ	オオハクチョウ
	オオハクチョウ	オナキハクチョウ
	コハクチョウ	コアマリコハクチョウ
南半球	クロエリハクチョウ	コク

● カモ類

ガンカモ科の中で最も多い仲間、35属116種がふくまれるが、大きく分けると下の表のように分類される。日本には36種のカモが記録されているが、そのほとんどは冬鳥として飛来し、冬のバードウォッチングの主役となる。国内で繁殖の確認されているカモは14種だけ。姿、形や生活する場所、食べ物、採餌行動などから便宜上ツクシガモの仲間、淡水ガモの仲間(水面で採餌。陸ガモとも呼ばれる)、海ガモの仲間(潜水して採餌。河口や内湾、外洋にいる)、アイサ族の仲間に分けることもある。

ツクシガモ族	5属 15種
フナガモ族	1属 3種
バリケン族	9属 13種
マガモ族	5属 40種
ハジロガモ族	3属 16種
アイサ族	8属 20種
オタテガモ族	4属 9種



マガモ

ハシビロガモ

カルガモ

オシドリ

ホオジロガモ

スズガモ

ホシハジロ

シショウカラガン

マガシ

カリガシ

● ガン類

ガンと名のつく鳥は27種知られているが、そのうちマガシ属(9種20亜種)とコクガン属(5種19亜種)を「真正ガン類」と呼んでいる。日本ではこの14種のうち9種が記録されており、いずれも冬鳥として北方の繁殖地から越冬のために飛来しているが、そのほとんどはマガシ、ヒシクイ、コクガンであり、他のガンはそれらの群れに混ざって稀に記録されているに過ぎない。

越冬地として有名な宮城県伊豆沼や、渡りの中継地である北海道美瑛市の宮島沼には2万羽以上のマガシが集まる。

マガモ

Anas platyrhynchos

翼長 約 260mm
オスは俗に「青首」と呼ばれ、黒緑色の頭に白い首輪が目立つ。メスは全体が地味な褐色。



オス

10月頃から春過ぎまで美しい冬羽となる。特に金属光沢のある次列風切羽(翼鏡という)は特徴的。夏から秋にかけてメスと同じような羽色となる(エクリプスという)。

えさ

川や沼の岸辺や水面で、水草、浮草、雑穀、昆虫、ミミズなどを食べる。浅い水底のえさは逆立ちしてとる。

生息

旭川周辺の川や沼では、どこにでも見られ、カモの仲間では一番多い。初夏にはヒナを連れ親鳥が評判となる。一般的な狩猟鳥で、北海道では10月1日から1月31日の狩猟期に多数が射殺されている。

卵

1回の繁殖に8~10個の卵を産む。抱卵期間は28日間。全卵産み終わってから抱卵するので、ヒナは同時に孵化する。抱卵と育雛はメスだけがこなす。

マガシ

Anser albifrons

翼長 ♂ 395~453mm
♀ 382~432mm

日本には冬鳥として約6万羽(1976年)が飛来し、宮城・石川・新潟の三県で越冬する。1971年天然記念物指定。旭山動物園では現在4羽飼育中。

生活

陸上で歩きながら草や種を食べる。休息は湖沼。繁殖期以外は群れで生活するが、家族行動が見られる。

飛び方

カギ形やサオ形になり編隊を組んで飛ぶ。

くちばし

嘴

ピンク色で幅がせまく、厚みがある。縁に歯のようなギザギザがあり、草をちぎって食べるのに都合がよい。根元から額にかけての白い部分が特徴的(albifronsのこと)。

日本で記録されたガンカモの仲間

ハクチョウ類	ガン類	カモ類					
		ツクシガモ類	淡水ガモ類	海ガモ類	7仔類		
○オオハクチョウ	○シショウカラガン	○アカツガモ	○マガモ	○シマヅク	○カシハシロ	○オシドリ	○ミドリ
○コハクチョウ	○コクガン	○ツクシガモ	○カルガモ	○ハシビロガモ	○ホシハシロ	○ヒシクイ	○ウミ
○アメリカハクチョウ	○ハイロガン	○カムリツクシガモ	○コガモ	○オシドリ	○オホハシロ	○クワガモ	○カ
	○マガシ		○トモガモ	○ウミツクシガモ	○クワガモ	○コクガモ	
	○カリガシ		○ヨシガモ		○メジロガモ	○クワガモ	
	○ヒシクイ		○オカシガモ		○7仔	○7仔	
	○ハクガン		○ヒドリガモ		○シシ	○シシ	
	○ミドリガシ		○アヒル		○オシ	○オシ	
	○シシ		○オシ		○オシ	○オシ	

○旭山動物園で飼育中

どろろ画コンクール

旭山どうぶつえん

25回

幼児の部

中学年の部

北海道新聞旭川支社賞



旭川市立日の出倉野へき地保育所 たかはしあつし 5歳
旭川市教育委員会教育長賞



旭川市神居保育園 名畑友裕 3歳

旭川市長賞

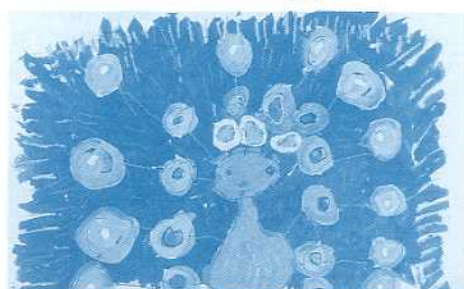


旭川蘭契保育園 小玉寛樹 5歳

旭山動物園賞

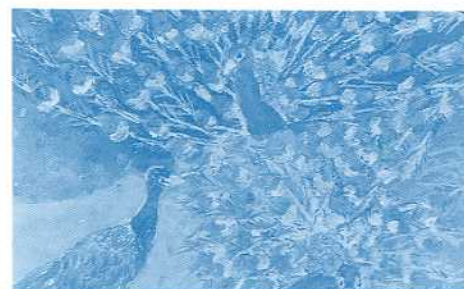


旭川わむのき保育園 あずまこういち 6歳
マルカツ賞



旭幼稚園 根津絢佳 4歳

旭川市長賞



愛后小学校 4年 吉田佳世
マルカツ賞

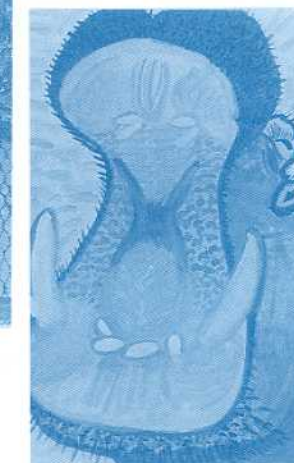


新富小学校 4年 三井大輔

北海道新聞社賞 旭川市教育委員会 教育長賞



雨紛小学校 3年
鷲尾明香



永山西小学校 4年
長谷川枝理子

旭山動物園賞



雨紛小学校 3年
水野恵里

低学年の部

旭川市長賞



永山東小学校 1年 笠原高明
旭川市教育委員会教育長賞



新町小学校 2年 吉田正哉

北海道新聞旭川支社賞



永山東小学校 1年 うつぎまわ
檜澤このみ

旭山動物園賞



日章小学校 2年 山崎五良
マルカツ賞



正和小学校 2年 国田絢子

旭川市長賞



永山東小学校 6年 狛 泰子
旭川市教育委員会教育長賞



雨紛小学校 5年 高橋洋平

北海道新聞旭川支社賞

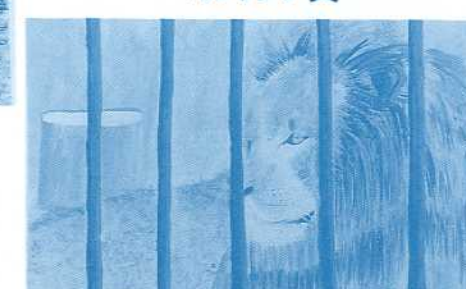


雨紛小学校 6年 西田千穂

北海道新聞社賞 旭山動物園賞



新富小学校 5年 橋本さやか
マルカツ賞



近文第四小学校 6年 松倉さゆり

「今、うちの子がけがをした小鳥を拾ってきましたの。とってもかわいそうなので、早く助けてやってください。」との電話である。動物園まで届けていただければ治療します、と答えると、「何言ってるの。どうして私が動物園まで届けなければならないの。」最後には「じゃ、動物園は折角うちの子が助けた小鳥を見殺しにするのね。判りました。」と一方的に電話を切られてしまう。

動物園は多くの野生動物を飼育し、展示しているのに、野生動物を助けて当たり前だと思える。しかし、動物園で行なわれている傷病鳥獣の救護活動は、ほとんどがボランティアなのである。救護の仕事をする職員は全く配置されていないのが現状である。

旭山動物園では、地域の野生動物を大切にしたいと願っているため、野生動物が持ち込まれたら、どのような動物であれ収容している。しかし、アヒルのような家畜やアライグマのような移入種は救護の対象にしていない。人為的に持ち込まれたものは野生動物とは考えないからだ。さて、それでは誰が野生動物に対して責任があるのか。誰にも責任がないのだろうか。我々人間が生活しているこの地も自然界の一部なのだから、自然については我々に責任があると考えられる。だとすれば、野生動物についても我々一人一人が責任を持っていることになる。人任せにせず、みんなができる範囲で野生動物を助けていくことを確認したいと思っている。



コガモ♂

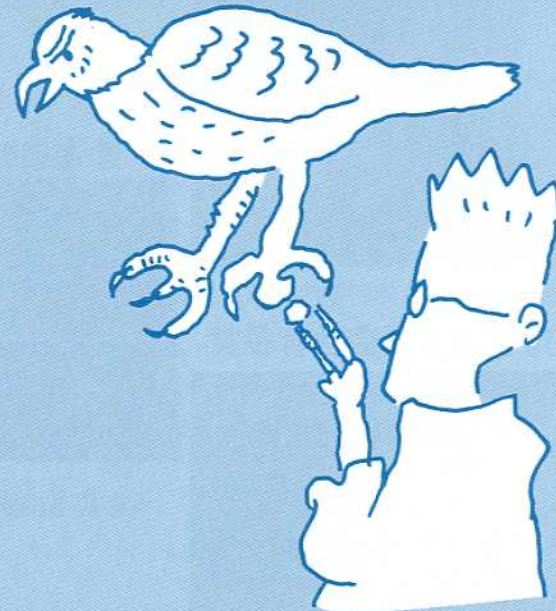
「これから動物園を考える。」

趾瘤症 (しりゅうしょう)

Vet. News
- 動物病院から -

今年8月、2羽のノスリが地面の上にいることが多いことに気づき、捕まえて診療しました。足の爪が伸びすぎて、指を曲げると、ちょうど足の裏、人ならば指の付け根に爪が当たるようになっていました。爪が当たる部分に小さな傷があり、足の裏が腫れ上がっていました。趾瘤症です。水鳥、特にペンギンが重傷になりやすい病気で、足を地面に擦って歩くことで、足の裏に小さな傷ができ、そこからばい菌が入り、化膿してしまうのです。重傷になると足を歩くことが出来なくなり死んでしまいます。魚の目のすこいの想像してもらえばいいかと思います。非常に治りにくくて、発症すると結局は死亡してしまうことが多いとても恐ろしい病気です。

さてノスリですが、毎日排膿、消毒をして、ばい菌が入らないように包帯をしています。木に止まったり餌をつかむことは出来るようになったのですが、治療を止めるには程遠い状態です。新たに導入したレーザー治療器を使い治療してみようと考えています。



「ロウのヒナを拾ったのですが」といって持ってくるようです。

繁殖についてですが、フクロウの仲間はシロフクロウのように外観や鳴き声でオスメスが判断できる種類は稀で、ほとんどの種では判定できません。そこで染色体検査をして雌雄判定をすることが最初の仕事になります。それにお互いの相性を考慮して、つがいをつくります。

つがいとなった2羽だけをケージに入れて飼育してみると、産卵し、熱心に抱卵をしますが、なぜか無精卵ばかりで、なかなかヒナの顔を見ることはできませんでした。そこで3年前の冬、オスとメスを別居させ、春にオスの部屋で同居させるという「渡り式同居法」を試みました。これはコノハズクが渡り鳥で、オスが先に繁殖地へ渡ってきて、メスが来るのを待っているとする説から考え付いた方法です。結果は孵化には至りませんでした。期待どおりに有精卵を得ることができました。これまでは記録を残すことを念頭に置いていたのですが（これは動物園として当然のことなのですが）、抱卵中に何度も巣の様子をのぞいたりしていました。結果的にこのことが孵化に至らない原因の一つなのではと考えると、今年は記録は二の次にして、とにかく繁殖の成功を第一にしました。

6月19日、給餌のためにケージ内に入ると、いつもは巣箱の近くの木に止まっているオスの姿が見えません。初めて巣の中をのぞくと慌ててオスが飛び出て来ましたが、そのとき真っ白な綿毛に包まれた2羽のヒナが見えました。ヒナたちも慌ててメスのおなかの下に潜り込もうとしていました。

6月26日、初めてヒナの声聞き、元気に育っているなあとひと安心しました。ところがその次の日、大変なことが起きてしまいました。メスが死んでしまったのです。巣箱には4羽のヒナが残されていました。オスは巣箱に残りヒナの世話をしていたので、2羽だけ残し、2羽は安全のため私が育てることにしました。28日には巣箱からヒナの声が聞こえ、安心していましたが、残念ながらオスだけではヒナを育てることができなかったようで、30日の朝にはヒナは冷たくなっていました。

私の育てているヒナは順調に成長し、現在は親鳥と変わらない大きさになっています。来年の夏にはブッキョコーという鳴き声を聞かせてほしいと願っています。



コノハズクの繁殖

コノハズクは沖縄を除く日本全国に分布する小さなフクロウです。声のブッポウソウとして有名で、「ブッキョコー」という鳴き声は姿形よりもよく知られています。旭川でも動物園の裏山（旭山）や嵐山など近郊の山々に聞かれます。

旭川周辺でよく繁殖し個体数も多いためか、毎年数羽が、けがや病気などで動物園に保護されてきます。立っている大きさが成鳥で15cm位なので、ほとんどの人が「フク





小さな疑問から大きな疑問まで、『げんちゃんの追球コーナー』へ、どんどんお送り下さい。採用させていただいた方には、旭山動物園特製「エゾシカの角のキーホルダー」をプレゼントいたします。

Q ヤギやヒツジはどうしてあんな目をしているのですか？

稚内市 井嶋美紀さん

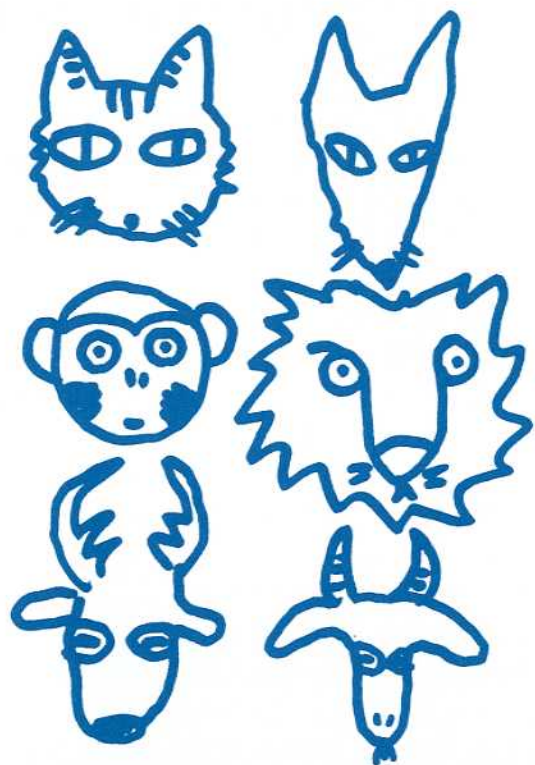
A 光が目の中に入ってくるのを瞳孔といいます。明るいときは小さくなって、暗くなると大きくなります。カメラの絞りのように、入ってくる光の量を調節する働きがあります。

この瞳孔の形はよく観察すると色々あります。まずは円形。ヒト、サル、鳥類、クマ、ライオンなどがそうです。光は上下左右わけへだてなく入ってくるので、正面を向いても、かなり広い範囲のものが見えてしまいます。悪く考えると、例えば一点に意識を集中しても、視界の角に何かものがチラチラ動くと気が散ってしまうこととなります。

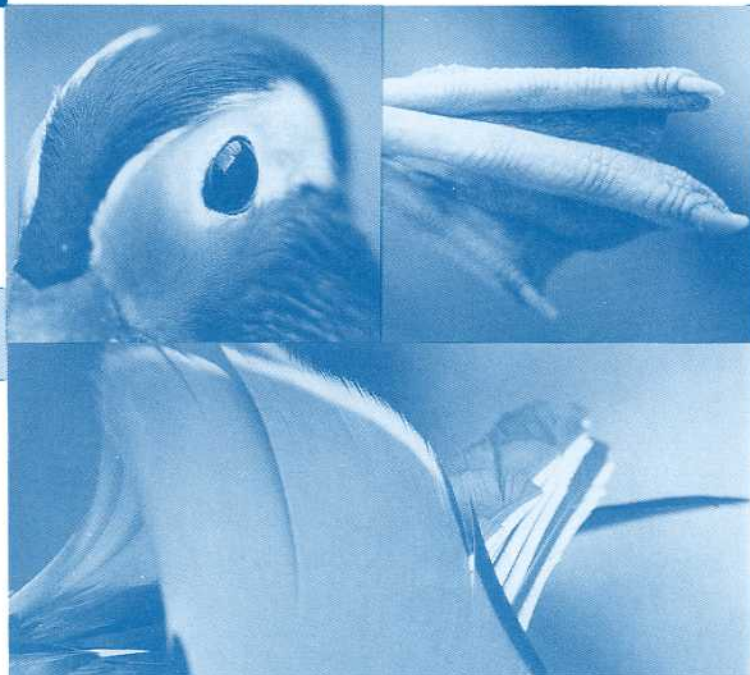
次は縦長。ネコの目に代表されます。小型のネコの仲間には草むらなどに身を伏せて獲物に忍び寄ります。立っている草がつくる縦の隙間からものを見ているのです。縦の隙間からものを見て、意識を集中しやすいように横方向の情報が入らないような瞳孔の形だといわれています。猫じゃらしで猫の意識を集中させておいて、猫に見えているくらいの方向から猫に触るとびっくりして飛び上がることがあります。気付いていないのです。

最後に横長。シカの仲間や、ヤギやヒツジなど中型以上の草食動物にみられます。食べられる側の動物は、広く横方向に意識が集中しやすい方がいいですね。空から襲われることや、足元から襲われることは殆どないのです。

視覚はとても大事な感覚です。瞳孔のかたちだけではなく、目から入ってきた情報を脳でどの様に処理するか、などによっても見え方は変わってきます。例えばネコの仲間には動くものにだけ反応する視細胞があるといわれています。目のついている位置も、観察すると特徴があって何か発見があるかも知れませんよ。



3枚の写真はある動物の一部です。私は誰でしょう？



クイズ

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製「エゾシカのキーホルダー」が当たります。

応募方法 ハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募〆切 1993年11月30日

前号のこたえ

正解はテナガザルの手でした。
《正解率100%》全員が正解でした。

キーホルダー当選者

釧路市 谷地中 真梨子さん
旭川市 平泉 智香子さん
旭川市 先崎 啓子さん

飼育日誌 《平成5.7.1~平成5.10.5》

- 7. 2 ZOOガイド「市監査事務局」
- 7. 4 ZOOガイド「旭川小学校」
- 7. 5 オシドリ6羽 滝川市へ
ZOOガイド「小鳩幼稚園」
- 7. 6 ZOOガイド「旭川東栄高校」
- 7. 8 グリーンイグアナ 事故死
- 7.10 ZOOガイド「愛宕東小学校」
- 7.15 ZOOガイド「東川町公民館」
- 7.18 チュウゴクオオカミ♂ 死亡(腫瘍)
- 7.19 タイワンザル♂ 外傷
- 7.21 アカクビワラビー仔 掌部皮膚増成切除
- 7.22 ZOOガイド「フリースクールうぼぼ」
- 7.23 体験学習「旭川市神居東中学校」
- 7.25 夏休み親子動物教室Ⅰ〔昆虫採集〕
- 7.27 ZOOガイド「市広聴広報課1」
- 7.29 マルミミゾウ寝室改修工事 ~7.31
ZOOガイド「市広聴広報課2」
- 8. 1 夏休み親子動物教室Ⅱ〔昆虫飼育〕
- 8. 2 第18回旭山動物園サマースクール ~8.4
- 8. 8 夏休み親子動物教室Ⅲ〔虫を作る〕
- 8.13 夜の動物園開園 ~8.16
アニマルウォッチング
- 8.14 カブトムシの夕べ
- 8.15 夏休み親子動物教室Ⅳ〔夜の虫たち〕
- 8.16 ノスリ2羽 趾瘤症のため治療
ワビチ 枝角になったためを隔離
- 8.19 ワビチ出産
ZOOガイド「のびろ保育園」
- 8.20 ワビチ出産
- 8.21 ZOOガイド「愛宕東小学校」
- 8.22 ZOOガイド「西御料地小学校」
- 8.30 ホッキョクグマ舎工事のため移動
- 9. 2 体験学習「旭川市愛宕中学校」
- 9. 3 体験学習「旭川市啓北中学校」
- 9. 4 ZOOガイド「名寄幼稚園」
- 9. 6 ZOOガイド「旭川市神楽公民館」
- 9. 9 北海道獣医師大会学会にパネル発表
「傷病鳥の初期治療について」
ZOOガイド「こぶたサークル」
- 9.10 ZOOガイド「旭川第三小学校」
- 9.14 体験学習「旭川市北星中学校」
- 9.15 ZOOガイド「滝川シレニア会」
「沼田化石研究会」
- 9.16 エゾシカ 枝角にホースを装着
- 9.17 ZOOガイド「土別西小学校」
- 9.21 ZOOガイド「旭川医科大学・生物学実習」
- 9.22 ZOOガイド「末広第二保育園」
- 9.24 育雛舎のガラスを破り、オオタカが襲撃
オシドリ、シマアジ、クジャクのヒナが被害
- 9.26 ダチョウ 当園で初めて孵化
- 9.28 ZOOガイド「旭川鉄道保育園」
ZOOガイド「上川東雲小学校」
- 9.29 ゴリラ♂倒れる 9.30回復
- 10. 1 ZOOガイド「わかば保育園」
- 10. 2 ZOOガイド
「北海道教育大学・旭川分校一心理学」
- 10. 4 上川教育局-新任教師初任者研修

お知らせ

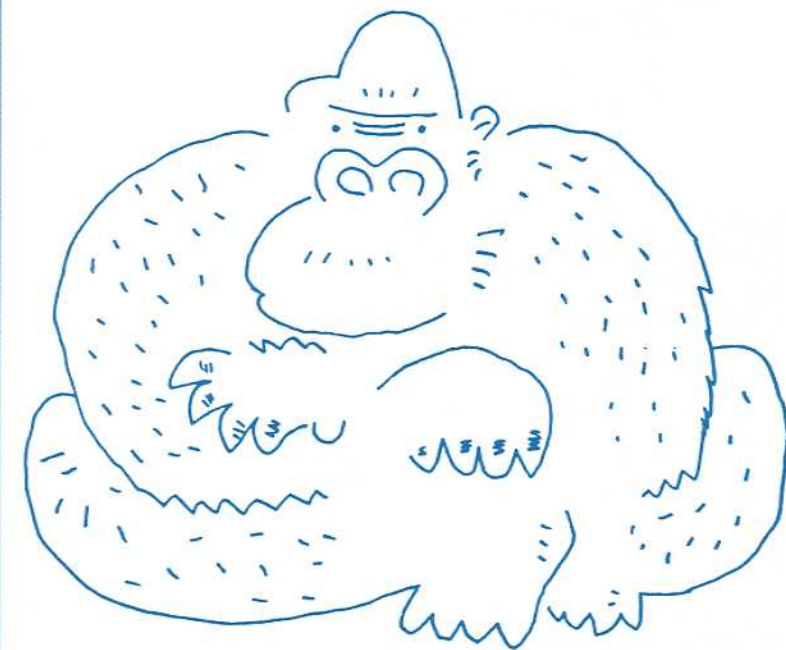
◎モユク・カムイの申し込み方法

1年分の送料として120円切手を4枚同封して、旭川市旭山動物園モユク・カムイ係までお申し込みください。

編集後記

冷夏だ冷夏だと騒がれていましたが、現実には秋を迎えて、予想以上の深刻さに驚いております。不況に続く作柄不良の追い打ちに先が思いやられます。そんななかで、動物たちはさしたる事故もなく、みな元気に生活しております。

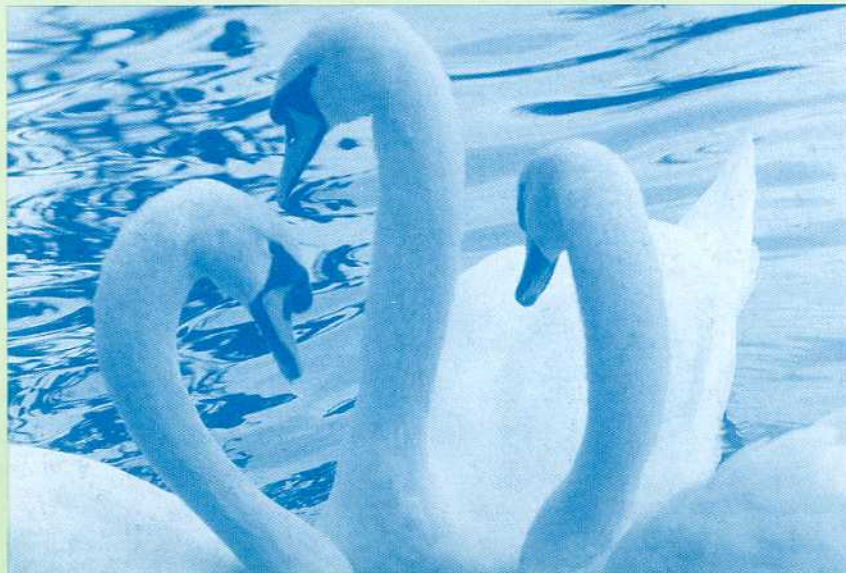
ワビチの赤ちゃんが8月中旬になってようやく生まれました。昨年からのオスの立派な角をお客さんにお見せしようとオスを隔離しましたので、一般的な交尾期を過ぎての妊娠という結果になりました。お客様から「やっぱり冷夏の影響かい？」と聞かれますが、決してそうではありません。季節外れのこともですが、無事大きくなってほしいと願っています。



飼育動物数

(10月1日現在)

哺乳類 40種 146点
鳥類 91種 467点
爬虫類 12種 43点
合計 143種 656点



コブハクチョウ

モユク・カムイ No.34 平成5年11月10日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行者 菅野 浩 編集委員 小菅 正夫・阿部 寛・坂東 元
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653